

夢じゃーなる

Vol.

8

第3期阪神北地域ビジョン委員会だより

平成18年（2006年）2月

発行／阪神北地域ビジョン委員会

編集／阪神北地域ビジョン委員会広報部会

<http://web.pref.hyogo.jp/hanshinkita/vision/v-index.html>



目次

| | |
|-------------------------|-----|
| ・ 阪神北地域夢会議を開催して …… | 2 |
| ・ 市民文化まつりに協賛出演 …… | 2 |
| ・ 豆腐づくりでコミュニティ活性化 …… | 3 |
| ・ 「緑のものしりカード」を開発 …… | 3 |
| ・ 多世代交流アンケート結果 …… | 4～5 |
| ・ 「ゴミ減量・温暖化防止」への関心は? …… | 6 |
| ・ 武庫川流域エコバスツアー …… | 6 |
| ・ 専門委員の先生方より …… | 7 |
| ・ 大和夢ナリエ …… | 8 |
| ・ 子ども安全フォーラム …… | 8 |
| ・ 編集後記 …… | 8 |

題字：早野 昌水

阪神北地域夢会議を開催して 平成十七年度第一回夢会議

実行委員長 中川 勝子



「語ろう！
あなたの夢、お
もい、願いを」
というテーマで、
平成十七年度

第一回夢会議を、去る十一月十三日に宝塚市の「ぶらざこむ」で開催しました。主体的な活動をめざすビジョン委員会としては、一定の成果をみるこ
とができました。会場でのグループ討
議の内容は各グループの目標に即した
もので、真剣な意見が交わされていた
からです。このことは、委員一人ひとり
が意欲的で、高い意識を持って活動し

ている証であると思います。

さわやかステージでは、結成初ステー
ジのカナリアサロンと、活動豊富なアン
サンブルシヨラの、二つのコースはと
ても良かったと感じております。

さて、私自身、実行委員長として今
回担当の第一分野の皆さんとの横のつ
ながりを体験できたことは、大きな収
穫でした。

これからも県民の皆様とともに魅
力ある阪神北地域ビジョン活動の実践
に関わっていきたいと思います。夢会議
開催へのご協力、ありがとうございます。

| グループの活動状況 | | |
|-----------|----------------------------|-----------------------------------|
| 分野 | グループ名 | 活動状況 |
| 第1分野 | 多世代交流グループ | 多世代交流アンケートを集計・検討 (4~5頁を参照下さい) |
| | のびのび子育て サポートグループ | 有馬富士公園での行事を計画中 |
| | いきいきメイクグループ | 関連業界との連携による活動を検討中 |
| 第2分野 | 明るく楽しく 健幸創りグループ | サロン会場を検討中 参加演芸団体を募集予定 |
| | ニコニコ水曜会 | 川西市の行事参加と宝塚の行事を計画 (2頁を参照下さい) |
| | 夢と希望の しくみづくりグループ | 川西市での行事に参加 (3頁を参照下さい) |
| 第3分野 | 水グループ | 3月にエコバスを計画中 (6頁を参照下さい) |
| | 身近な緑を語り隊！ | 12月に行事を実施(マスコミ取材あり) (3頁を参照下さい) |
| | 都市環境(ゴミ問題・ 地球温暖化防止)グループ | 環境問題アンケートを集計・報告 (6頁を参照下さい) |
| 第4分野 | であいたい | ウォーキングマップを作成予定 |
| | 何かいいこと クリエイトグループ | 4月からの具体的な活動を検討中 |

「市民文化まつり」に 協賛出演

昨年十二月二十七日(日)に川西市東
谷小学校区コミュニティ推進協議会主
催の「市民文化まつり」で、「紙芝居」
と「フルート演奏」をしました。

当日、会場の東谷小学校のグラウン
ドでは、「公民館まつり」と「JAまつ
り」が同時開催され、多くのバザー・模
擬店が出ていました。また、好天にも
恵まれたこともあつて、グラウンドは多
くの人でいっぱいでした。

私たちの出演会場は、小学校の多目
的教室で、グラウンドにいる見物の人た
ちを呼び込むことから始めました。
司会者から演目のやさしい説明に
続いて、紙芝居「セロひきのゴシユ」と
「あてものクイズ」を二十五分熱演。そ
の間、別のメンバーによるフルート演奏、



曲目は紙芝居のテーマを盛り上げる「シユ
マンのトロイメライ」で、心を込めて演
奏しました。

会場内は大変明るい雰囲気におま
れ、また、「あてものクイズ」の景品を
手にして無邪気に喜んでる子どもた
ちの様子を目の当たりにして、メンバー
一同、出演の成功を感じました。

(ニコニコ水曜会

福田 幸彦)

お知らせ

紙芝居とフルート演奏を親しむ集い

日時 3月12日(日)11時~12時

場所 中山寺 絵馬堂にて

内容 フルード演奏をバックに、「中山観
音寺」の由来や行事内容を紙芝居
で紹介します。
その他、楽しい催物もあります。

入場は無料ですので、多くの方のご参加を!

豆腐づくりで 「コミュニティの活性化」



「コミュニティ活性化」は、私たちグループ全員で検討しているテーマですが、昨年十一月二十六日に、その一環として川西市の多田グリーンハイツで実施されているコミュニティ活動を、我々グループメンバー

八人が見学しました。当日は、子どもたちと保護者約六十人が一緒に豆腐作りに励んでおり、慣れない手作業ながら参加者はねじり鉢巻で一生懸命でした。子どもたちは、お豆さんが煮あがる間の待ち時間には、別に準備された紙芝居などにも興味を示して遊んでいました。

そして、リーダーの熱心な指導と参加者の見事なチームワークにより、約二時間後にはおいしい豆腐ができあがり、我々も賞味させていただきました。

この種の行事を今後も毎月二回実施していくとのことでしたが、実際にまとまった活動を拝見し、大いに参考になると同時に、多大な元気をいただきました。
(夢と希望のしくみづくりグループ)

吉田 哲彦



「緑のものしりカード」を 開発

私たちのグループが、ユビキタスネットワークを活用した携帯電話を用いてその時その場で調べられる「樹木検索システム」を開発しました。

昨年の十二月十二日に宝塚市の雲雀丘山手公園で、宝塚市長をはじめ、多くの市民の方々の参加を得て公開実演を行いました。公園内の樹木ごとにその名称と二次元バーコードを記載した「緑のものしりカード」を貼り付け、実際に参加者が持っている携帯電話のバーコードリーダーで二次元バーコードを読み込ませると、樹木の説明が瞬時に携帯電話に表示され、樹木の名称の由来や用途などが瞬時に理解できることとなります。



緑のものしりカード クスノキ

コードNO.0001-0005

携帯電話のバーコードリーダーで調べてください (この樹の説明が出ます)



毎年春にはこんな やさしい新芽が出るのですよ!

阪神北地域ビジョン委員会 「身近な緑を語り隊！」

このシステムは斬新な試みであることから、当日はテレビ大阪が全国25放送ネットワーク放映番組「ボランティア21」の一環として撮影を行いました。また、十月十九日にはNHKでも「ご近所の底力」の制作デスクが同山手公園まで来られ、長時間にわたって取材調査が行われるなど、各種メディアからも大きな注目を集めています。

必要な時に、必要なことが即座に解かるシステムなので「緑を愛する人」を増やし「緑を育てる人を育てる」ための強力なツールとなりそうです。

阪神北から世界へ！緑を愛する心が広がっていくといいですね。

(身近な緑を語り隊！)

篠原 悌三

調査集計結果 (中間報告)

第1分野「多世代交流グループ」

各世代間の交流意識が大きく作用すると考
て団塊世代より高齢の方の意識を把握し、
る。

13日開催)
域のサークル活動に参加している方を調

| 三田市 | 猪名川町 | 阪神北外 | 合計 |
|-----|------|------|-----|
| 28 | 5 | 25 | 245 |
| 22 | 3 | 8 | 109 |
| 6 | 2 | 17 | 136 |

まとめ

高齢者(たとえば家庭に引きこもっておられる
かもしれませんが、多世代交流を考える上で、
要であると思われる状況が見えてきたように

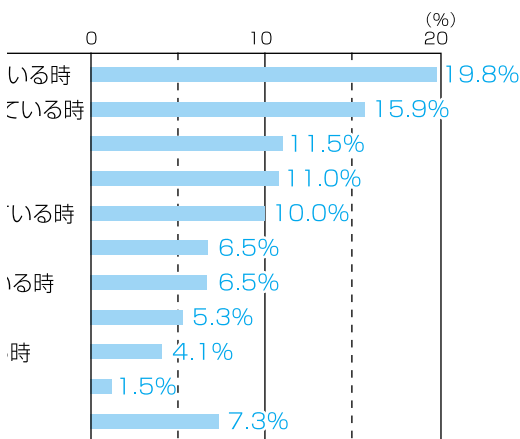
的積極的に地域活動に取り組まれている
加したい」という回答がほとんどで、「積極的
世代間交流について、積極的に取り組むの

では、拠点となる場所や世話役、リーダーの

ではなく、個人の喜びや楽しみに生きがいを
っているのではないか。

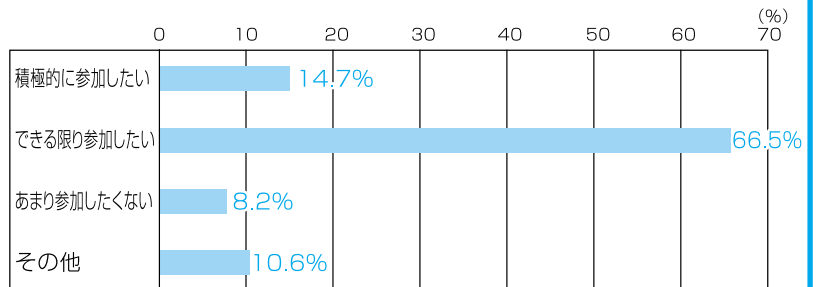
という人たちに対する参加意欲をどう高揚さ

(喜びや楽しみ)を感じるか



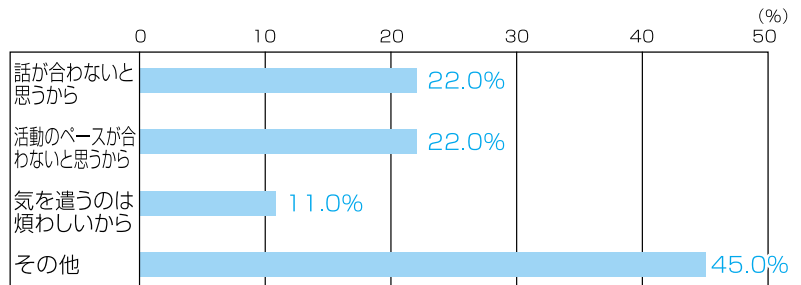
4 若い世代との交流する機会があれば参加するか

「積極的に参加したい」14.7%に対し、「できる限り参加したい」が
66.5%と圧倒的に多く、比較的積極的に地域活動に参加している人た
ちであるにもかかわらず、世代間交流に対する意識は、やや受身となっ
ていないのかと考えられる。



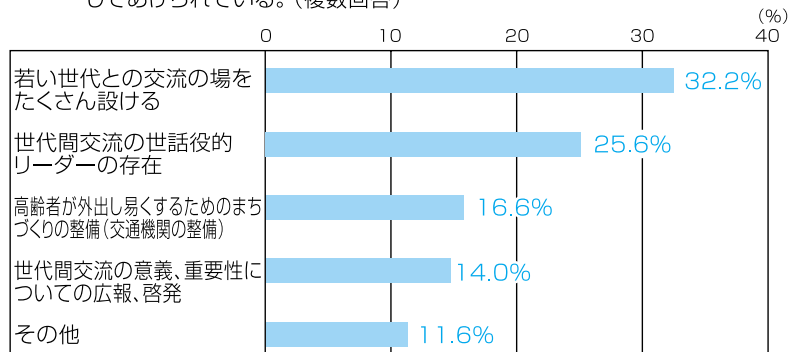
5 若い世代との交流に参加したくない理由

「積極的に参加したい」以外を答えた人に参加したくない理由を聞い
たところ「話が合わないと思うから」「活動のペースが合わないと思うから」
が主な理由としてあげられている。このことは「高齢である」「考え方の
ずれ」など意識が過敏となっているものと思われる。



6 世代間交流を進めるために必要な条件

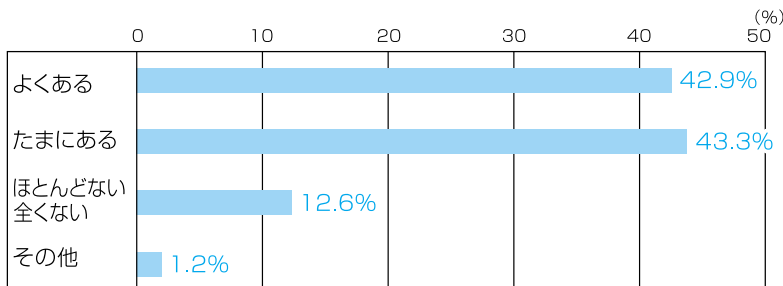
世代間交流を進めるために必要な条件は、「若い世代との交流の場を
たくさん設ける」「世代間交流の世話役的リーダーの存在」が必要条件と
してあげられている。(複数回答)



「多世代交流」を考えるに関するアンケート

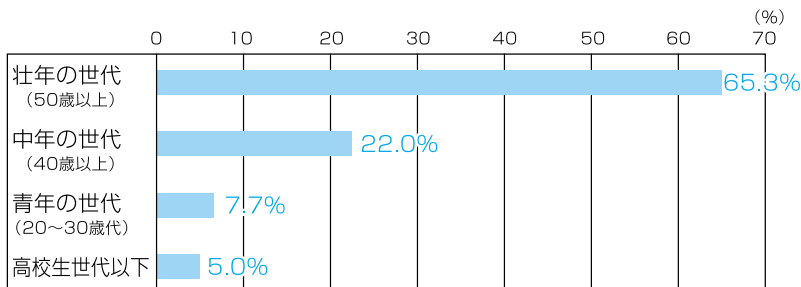
1 若い世代との交流の機会の有無

若い世代との交流機会についてみると、「よくある」42.9%、「たまにある」43.3%となっており、両方をあわせた「ある」が86.2%と圧倒的に多く、「ほとんどない」「全くない」をあわせた12.6%を大きく引き離している。調査結果からいえることは、対象者がビジョン委員のほか、各種地域活動等に携わっておられることを考えると当然の結果と考えられる。



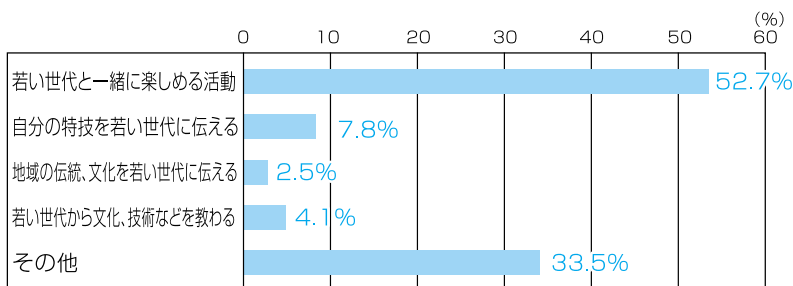
2 交流の世代との関係

交流の世代は、主として「壮年の世代(50歳以上)」と答えた人が65.3%となっており、若い世代との交流も「中年の世代(40歳以上)」と答えた人は22.0%となっている。このことから、自分の年齢に見合った同じ世代または近い世代との交流が主になっていることが判る。



3 若い世代との交流内容

「若い世代と一緒に楽しめる活動」が全体の52.7%を占めており、「自分の特技を若い世代に伝える」「地域の伝統、文化を若い世代に伝える」「若い世代から文化、技術などを教わる」といった、「何かを考え」「何かを伝え」「何かを学ぶ」という交流よりも、単に楽しければ良いということの方が優先されているように見受けられる。



■調査目的

世代間交流を積極的に展開するためにえられることから、本調査では手始めに主多世代交流のあり方を考察することを目的とする。

■調査方法

- 1 夢会議参加者の任意調査(平成17年)
- 2 多世代交流グループメンバー(10名)の調査(10月~11月末)

■アンケート回収状況

| | 伊丹市 | 宝塚市 | 川西市 |
|-----|-----|-----|-----|
| 回収数 | 46 | 78 | 63 |
| 男 | 9 | 29 | 38 |
| 女 | 37 | 49 | 25 |

調査結

今回のアンケート調査は、必ずしもすべての方などの状況を明らかにしたものではない。今後の検討課題として取り組んでいくことがと思います。

- 1 「若い世代との交流の機会」について、方々であるにもかかわらず、「できるかぎりに参加したい」という回答が非常に少なく、やや受身となっているのではないかと考えられる。
- 2 世代間交流を行う上での必要条件について、育成等のあり方が必要ではないかと考えられる。
- 3 生きがいについても、多世代交流を通して感じる回答が目立つなど、個人志向が強い傾向がある。
- 4 若い世代との交流機会が「ほとんどない」と感じるかを考える必要があるのではないかと考えられる。

7 どんなときに生きがいを感じるか

生きがい(喜びや楽しみ)を感じる時は「趣味やスポーツに熱中している時」「友人や知人と食事、雑談している時」「孫など家庭との団らんの時」となっており、多世代交流を通じての満足度ではなく、どちらかといえば個人志向の喜びの方が強い傾向にある。(複数回答)

趣味やスポーツに熱中している時
友人や知人と食事、雑談している時
孫など家庭との団らんの時
旅行に行っている時
社会奉仕や地域活動をしている時
他人から感謝された時
勉強や教養に身を入れている時
夫婦団楽の時
おいしいものを食べている時
若い世代と交流している時
その他

「ゴミ減量・温暖化防止」への関心は？出来るところからの小さな一歩！

私たちグループは、昨年11月「夢会議」において、今後の活動の参考にしたいの思いで、参加者を対象に「ゴミ問題と温暖化」についてのアンケートを実施し、66人から回答を頂きました。以下結果の報告をいたします。

環境問題については、60人（94%）の方が「関心あり」と回答され、問題別に見ると、「ゴミ問題」37%、「地球温暖化防止」23%、「自然環境」22%などでした。

家庭で実行していることを尋ねたところ「**ゴミ問題**」では

- 1 「ゴミの分別」
- 2 「マイバッグの利用」
- 3 「食べ残しをなくす」

が上位に、また「**地球温暖化防止**」では

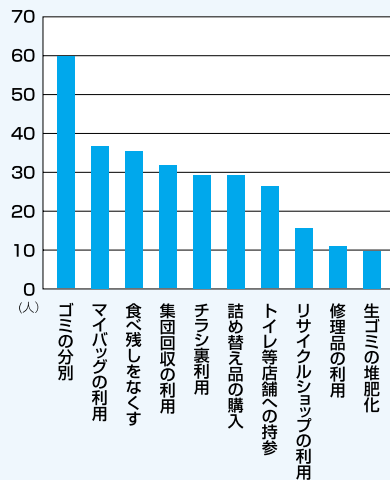
- 1 「テレビのつけっぱなしをしない」
- 2 「電灯をこまめに消す」
- 3 「風呂の残り湯を利用する」

が上位の結果となっています。

以上の結果、各家庭で、各自が自分の立場で出来る範囲の努力をされている様子が伺われます。

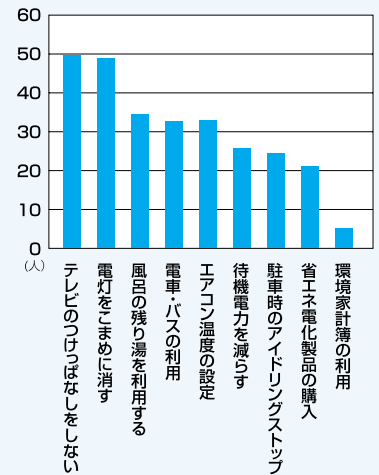
夢会議参加者のアンケートの報告

「ゴミ問題」で家庭で実行していること
(複数回答)



(都市環境グループ)

「温暖化防止」で家庭で実行していること
(複数回答)



なお「環境家計簿の利用」が8%との低い結果には普及に向けた何らかの工夫が必要と感じています。

「一人ひとりの身近な小さな努力の積み重ね」が一番の近道であることを強く感じます。こうした努力を通じて今の時代に生きる我々の責務として「きれいな地球」を次世代に引き継ごうではありませんか。

(都市問題(ゴミ問題・地球温暖化防止)グループ

西田 安民)

武庫川流域エコバスツアー

参加者募集

水ぬるむ3月中旬に、川の営みと水が育んできた自然環境を考えるバスツアーを実施します。ビジョン委員をはじめ、地域の皆さんに今の武庫川のあり様を自分の目で見、体感していただきたく、また、水の大切さや環境への取り組みを再認識していただけたらと思います。多くの皆さんの参加をお待ちしています。



◆実施日 3月16日(木) 午前9時阪急宝塚駅を出発
途中午前10時に県三田庁舎によります。
帰りは宝塚に午後5時過ぎの予定です。

◆行き先 ①三田市日出坂洗堰
②県立人と自然の博物館
(研究員の話聴き、昼食をとります)
③キンピール神戸工場
(工場とビオトープの見学)
④武庫川上流浄化センター

◆費用 1人 1,000円。昼食、雨具を持ってきてください。

参加希望者は3月6日(月)までに水グループ代表 西村 茂
(FAX072-792-7053)までお申し込みください。

なお、希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。

日出坂洗堰(写真)は希少な動植物が多い武庫川中流の河川改修と平行して公園整備が行われ、平成17年7月に完成しました。川の自然の営みをそのまま残す工法が採用され、これからの河川改修のさきがけとなるものです。

専門委員の先生方より



大手前大学
芳田 茂樹
(第1分野)

バブル経済崩壊後、私たちはクオリティ・オブ・ライフ（OOL: Quality of Life: 生活の質の向上）やウェル・ビーイング（Well-being: よりよく生きること）を追い求めるようになってきているように思います。第三期ビジョン委員会でも、みなさんの活動を拝見していますと、まさにOOLやWell-beingを実践されていると思います。これからも自然豊かな地域力を活かし、多様で個性的なライフスタイルを育みながら市民参加型の「新しい公」の実現に向けて、みなさんの更なるご活躍に期待を寄せていきます。

それぞれの「夢」に向かって共に取り組んでいきましょう！



兵庫県立大学
藤本 真里
(第2分野)

ビジョン委員のみなさんは、さまざまな地域の活動にも参加され、毎日忙しいことと思います。

そんな中でビジョン委員をしていて得をしたなあと思われることはありますか？仲間との出会い、兵庫県など行政や他地域の情報など、活動そのものだけでなく、二次的な産物もあります。それらを十分に活用されて、いろいろな活動がなくなり、深く、大きくなるような相乗効果を期待しています。



関西学院大学
大江 瑞絵
(第3分野)

年末年始をモンゴルで過ごしました。関西学院大学と国連ボランティアの協定のもと、UNITES（国連情報技術サービス）に派遣されている学

生の様子を見てきました。学生を受け入れてくれているのは、三関連の地元NGO（非政府団体）です。まだ市民参加活動が盛んとは言えませんが、さまざまな問題に取り組むNGOが活発に活動しています。ビジョン委員会の皆さんの活動も含め、市民レベルでも両国間の協力が進むことを願いつつ、活動を盛り上げていきましょう。

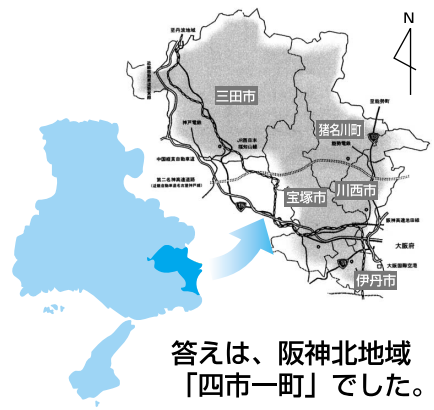


甲子園大学
滋野 英憲
(第4分野)

多士済々なビジョン委員の皆様は、精神的な活動が着実に実を結び、市民のより豊かで幸せな生活を導く行動の羅針盤となってくれるものと確信しています。2年目の活動は、各グループ内外の連携がさらに深まることで、より実り多きものになることを期待しています。

今後、微力ながら皆様のお役に立てるよう頑張る所存でおりますので、どうぞよろしくお願い致します。

夢じゃーなる第7号表紙の答え



ビジョン委員会オブザーバーの皆さん

今後もサポートをよろしく願います。

- 松井 博 伊丹市企画財政部企画調整室主幹
- 住吉 実 宝塚市企画財務部政策室課長(企画調整担当)
- 本荘 重弘 川西市企画財政部政策室主幹
- 長田 武彦 三田市市長公室都市経営課長
- 宮脇 修 猪名川町企画部企画政策課長

地域でこんな活動をしています

大和夢ナリエ



第六回大和夢ナリエは、四十五日間の点灯期間を終え、二月九日に幕を閉じました。

作業者の高齢化などにより、一時は中止が決定しましたが、中止を知った住民の方々からは、残念がる声や存続を望む声が多く寄せられ、その結果、大和自治会が中心となって、実行委員会を立ち上げ、存続することになりました。

全町的な冬の風物詩として盛り上げていきたいとの思いから、会場を従来の平木谷公園南側だけでなく、能勢電畦野駅前にも電飾を施し、また、行き交う人にも楽しんでいただけるように、メイン会場通路には、大和生括学校と子どもたちでキャンドルロードを作り、電気の明かりとソーソクの明かりがあやなす幻想を楽しめるように演出しました。

今後も「まち」が持っている潜在能力人々の思い、気持ちを一つにしなが、少子高齢化が進むまちにとって「明るく、元気あるまちづくり」の一助になればと願っています。

(第一分野 八木下 榮一
川西市大和自治会 副会長)

夢会議のお知らせ

こどもと元気に遊べるまち
～大人が楽しめば 地域が動き出す～

兵庫県知事も参加する阪神北地域の夢会議で楽しいまちづくりをみんなで考えませんか。ぜひ、ご参加ください。



日時：2月26日（日）13:00～16:00

場所：アステ川西6階 アステホール

阪急川西能勢口駅南へ徒歩2分
JR川西池田駅北東へ徒歩5分

問合せ先：阪神北県民局地域ビジョン担当

TEL 0797-83-3117

子ども安全フォーラムに参加して

昨年十二月十七日（土）「学校・家庭・地域で育む子どもの安全」をテーマに、宝塚市立末成小学校で「子どもフォーラム」が開催されました。

当日は、保護者、地域住民などの参加者、およそ二五〇人を前に、末成小学校教頭のコーディネートのもと、六年生児童一人とPTA、コミュニティすえなり、補導委員などの代表者十一人がパネリストとして、意見を出し合いました。

子どもの安全を脅かす犯罪が多発する中、子どもたちが不審者等の危険に遭遇したときに助けを求め



る「アトム一〇番の家」の確認や防犯ブザーの使い方、登下校時のパトロールの方法、更には、児童の目線を大切に「防犯マップ作り」などの問題点を取り上げ、会場の参加者を変えながら、学校・家庭・地域住民が一体となって、子どもたちの安全をいかに守っていくかについて、それぞれの立場で、熱心に話し合いました。

今後も子どもたちの安全確保に少しでも尽力していきたいと考えています。

(第一分野 前田 美智子
コミュニティすえなり)

編集後記

前回の夢会議アンケート集計や専門委員のコメントなど「夢じゃーなる第8号」いかがでしたか。

ビジョン委員の活動も「静」から「動」へ活発に動きだしました。各グループからの活動報告記事や読者の皆様からのご意見をお待ちしております。

これからも楽しく、わかりやすい記事を目指してがんばります。

お問い合わせ先

阪神北県民局地域ビジョン担当

宝塚市旭町二丁目四番十五号

電話 〇七九七―八三一―三一一九

